

科学技術政策担当大臣と有識者議員との会合 議事概要

○ 日 時：平成 21 年 10 月 8 日（木） 10：00～11：20

○ 場 所：合同庁舎 4 号館 7F 742 会議室

○ 出席者：津村大臣政務官、相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、榊原議員、青木議員、金澤議員、藤田政策統括官、梶田審議官、岩瀬審議官、大江田審議官

○ 議事概要

議題 1. 平成 22 年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針等について

＜須藤参事官より資料説明＞

- ・資料内容等を確認した。

議題 2. 総合科学技術会議本会議の議題案について

＜加藤参事官より資料説明＞

- ・資料内容等を確認した。

議題 3. 国際科学技術大臣会合について

＜岩瀬審議官より資料説明＞

（国際科学技術関係大臣会合について）

（相澤議員）◇ 本会合について何か意図するところがあれば、事務方からこの機会に発言されては。本会合は STS フォーラムと同じ時期・場所で行われているが、STS フォーラムとの関係も含めて何かあれば併せて言っていたきたい。

（岩瀬審議官）◇ 本大臣会合は、STS フォーラムと同じ会場で行っている。STS フォーラムには、世界中から関係大臣や産学官の著名な方が数多く集まるが、このような機会は中々ない。
◇ 折角のこの機会を利用して大臣同士が集まってネットワークを作るのは意義のあることだと認識。継続的にこれまで毎年開催を重ねて、各国同士のネットワークが構築され、徐々に成果が出始めたところ。

（津村政務官）◇ 岩瀬審議官の発言に異論はないが、この際折角なので、気づいた点を申し上げたい。
◇ 現在、科技部局の概算要求の見直しをしており、本会合の開催経費も含まれている。物理的・経済的にも STS フォーラムと繋がっていることにメリットがあると思うが、内閣府が、科技大臣会合にかかる開催経費をどこまで見ているのか、今後詰めていきたい。

◇ また、今回は政権交代や新たに Green Innovation の提案もあったことだが、今後は、事前に戦略性をもってやっていくべき。もっと大臣と有識者議員との会合で事前に内容について議論したらどうか。バイ会談でも前日に申し入れがあって受けたが、日本側から「この国とは積極的にやっていきたい」との申し入れがあっても良いのでは。

（本庶議員）◇ STS フォーラムは尾身前衆議院議員が開催しているのか。

（岩瀬審議官）◇ 現在は NPO 法人が開催主体。政務官からご指摘のあった件について、内閣府として開催支援はしていない。

（白石議員）◇ 本会合には、STS フォーラム開催の機会を利用して世界各国から多くの担当大臣が

参加する。他にも、G8 科学技術大臣会合や、日本アフリカ科学技術大臣会合、アジア地域科学技術閣僚会合（ASEAN+6）があり、全体としてこれらの大臣会合の日本としての方向性についてどのように考えていくかについて、科学技術外交タスクフォースで考えたいかが。

（以 上）